学校番号	T1206

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	(通)政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「最新 政治・経済」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業内容は、現代日本の政治、経済や国際政治、経済について扱います。これらのことで今の世の中でどのような問題（課題）があるかを自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行い、今を生きる私たちに何ができるかなどを考え、自分の考えをまとめて発表したり、議論したりします。
・最新の情報を得るためにChromebookを使用して調べ学習をすることを予定しています。
・授業では教科書と学習プリントを使います。教科書は必ず持ってきてください。
・日々のニュースに関心を持ち、世の中の動きを見るようにしましょう。

2　学習の到達目標

社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追及・解決したりする活動を通じ、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育むことができる。
（１）中学で学習してきたことの知識等を再確認しながら、高校で学習する内容を身につける。
（２）日本はもとより、世界の情勢や動向を「なぜ」そのようになったかを、歴史的背景等を含めて考え、自身で判断することができる。
（３）常に日本や世界の情勢や動向に関する情報を、様々なメディア等を通じて自身の力で入手でき、それを学習に取り入れることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	選択・判断のてがかりとなる政治、経済などにかかわる現代の諸課題について理解するとともに、さまざまな資料や情報を適切かつ効果的に調べる技能を身につける。	現代の諸課題について、事実をもとに概念を活用し、さまざまな視点で考えるようにし、問題解決に向けて正しく判断できる力や、みんなで話し合いをして合意をとり、社会に参加することを想定しながら議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を自ら解決しようとする態度を養うとともに、さまざまな視点でものごとを考える力を養い、人間としてのあり方や生き方についての自覚を深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	現代日本の政治	・現代国家と民主政治 ・日本国憲法と基本的人権 ・日本の政治制度と政治参加	a: 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解している。 b: 政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c: 現代日本の政治課題にかかわる知識を主体的に深め、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	・考査点	・考査点 ・学習プリント ・授業中の発表	・学習プリント等
	現代日本の経済	・現代の経済社会 ・現代の日本経済と福祉の向上	a: 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解している。 b: 経済活動と福祉の向上との関連、持続可能な財政及び租税の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c: 現代日本の経済課題にかかわる知識を主体的に深め、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	・考査点	・考査点 ・学習プリント ・授業中の発表	・学習プリント等

後期	現代の国際政治	・国際政治の動向と課題	a: 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解している。 b: 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割や国際平和と人類の福祉を寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 現代の国際政治における諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深め、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	・考査点	・考査点 ・学習プリント ・授業中の発表	・学習プリント等
	現代の国際経済	・国際経済理論 ・国際経済の動向と課題	a:貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解している。 b: 国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 現代の国際経済における諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深め、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。	・考査点	・考査点 ・学習プリント ・授業中の発表	・学習プリント等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度